

平成29年7月23日
今週のベストショット



青松園B 三友クラブ 対 塩浜ジャガーズ戦

先頭打者HRを放った三友クラブ坂本歩三塁手が光った守備でも活躍し、勝利に貢献。

写真：ソルトベ이스ターズ 田中 裕次郎

青松園A 順調な山口投手に途中アクシデント!?

三苦フレンズ (8勝) 2 3 3 0 1 0 9 山口○、生野(拓)、山口ー佐藤

新町パイレーツ (3勝5敗) 0 0 0 1 1 1 3 吉田●ー安田

HR：御手洗(三苦フ) 2BH：松尾(三苦フ) 長倉(新町パ)

盗塁：吉村、生野(拓)、田中(三苦フ) 小林(新町パ)

先攻の三苦フレンズは、初回無死二塁の場面で、二番松尾選手の右中間への先制二塁打を含め2点先取すると二回表は相手のミスも手伝い3点。三回表には三番御手洗選手のソロHRも飛び出し3点追加し8-0とする。三回裏フレンズ山口投手は、この日も2三振を奪い、毎回2奪三振でこの日も終わるかと思っただが、ここで奮起したパイレーツ長倉選手がレフト線へ二塁打を放ち反撃の狼煙を上げるも、リードが大きかった長倉選手に対し、佐藤捕手が素晴らしい牽制球でアウトとし反撃を断つ。そんな中、四回裏にアクシデント発生！一死一塁の盗塁の場面で、佐藤捕手が二塁への送球が山口投手の右手に当たってしまい、一時試合中断。その後、何とか投げ切り抑えるも五回裏からは、二塁手の生野選手が投手交代。反撃したい五回裏のパイレーツは、四死球で制球に苦しむ生野(拓)投手から一死満塁とすると、三番小林選手のセンターへの犠牲フライで1点を返す。続く六回裏も代打田中新一選手のレフト前ヒットと四死球で無死満塁の場面。ここで、またしても佐藤捕手の二塁への牽制球によりアウト。その後二者連続死球により1点を返したが、一死満塁の場面で負傷した箇所が気になる山口投手が再登板。思うような剛速球が投げられない山口投手を三苦フレンズの守備陣がバックアップ。ショートの後ろに難しいフライが飛ぶも吉村遊撃手が後ろ向きスライディングでナイスキャッチし、すかさず飛び出したランナーを好返球でWプレーに仕留め試合終了。三苦フレンズは、7奪三振の山口投手と2つの牽制球で強肩を見せつけた佐藤捕手が光った試合だった。(記事：レッドサンデー 前田 篤史、写真：八島 久徳)



無敗のフレンズ先発・山口投手。



パイレーツ先発の吉田投手。



一回表、先制二塁打のフレンズ二番松尾選手。



二回表、盗塁を決めるフレンズ七番田中選手。



二回表、吉村選手（20）に追い立てられる生野猛（55）選手。



追い抜かれることなく二者生還。



三回表、HRを放ったフレンズ三番御手洗選手とベンチ。



押せ押せのフレンズ生野選手の盗塁を刺す。



フレンズ一番吉村選手も盗塁死。田村二塁塁審Nice!



フレンズの俊足二人を刺したパイレーツ安田捕手。



パイレーツ初ヒットの二塁走者長倉選手を牽制で刺した→→フレンズの強肩・佐藤捕手。もう一つ刺しました。



強肩・佐藤捕手の送球が山口投手の右腕を直撃し交代。



五回表、代打でヒットを放つフレンズ吉村監督。



六回裏、代打ヒットを放つも佐藤捕手に刺される運命の田中選手。



六回裏、意地のタイムリーパイレーツ白岩選手兼監督。

奈多グラウンド フェニックス！ 逃げ切る。

新町ウインズ (5勝3敗) 030000 3 藤田●ー今林(孝)

奈多フェニックス (3勝3敗) 300022X 7 松本○ー今林(英)

3BH : 松本(奈多フ) **2BH** : 永渕、野中(新町ウ) 能丸、今林(心)(奈多フ) **盗塁** : 実延(彰)

夏本番！そろそろリーグも中盤戦に入り各チーム勝ち星が気になりだした中、ウインズが痛い1敗を喫した。試合前からフェニックスは監督自ら出場ということとなり敗戦ムードだったが、ウインズは、野手は揃っているものの肝心なエース藤田投手が遅刻して練習もせずに試合開始。先攻のウインズは少しでも時間を稼ぎたかったがフェニックスの先発松本投手の前に三者凡退。フェニックスは藤田投手の立ち上がりを攻めて、四番安藤選手の2点適時打や六番松本選手の三塁打などで3点を挙げた。一方ウインズは、二回表四番桐島選手が遊撃手のエラーで出塁すると、続く五番永渕選手が二塁打で出塁。六番今林孝智選手の適時打で1点を返すと八番野中選手がセンターオーバー二塁打で同点。二回以降は両投手とも全力投球で三者凡退を続けたが、フェニックスは五回裏、疲れの見える藤田投手から四球などでランナーを貯め、四番安藤選手を打ち取ったかと思われたが遊撃手の新人泉太一選手が痛恨のタイムリーエラーで決勝点を献上、その後もフェニックスは得点を重ねて終わってみれば7対3と快勝し、これで勝敗を3勝3敗の五分に戻した。(記事・写真：三苦ホーネッツ 堺 厳生)



一回裏、フェニックス四番安藤選手の先制タイムリー。



フェニックス六番松本選手のセンターオーバー三塁打。



二回表、ウインズ六番今林選手のタイムリーピース。



ウインズ八番野中選手のセンターオーバー二塁打。



今日の反省君。今林誠選手。



ファインプレイの吉浦右翼手を出迎える大久保選手。



昭和の一二塁間。今林孝二塁手と今林心一塁手。



緩急を使ったナイスピッチングのフェニックス松本投手。



決勝点を踏むフェニックス高原選手。



平成の三遊間。宮原三塁手と泉太一遊撃手。



タイムオーバーで打席に立てず・・・残念な実延彰洋選手。



クマ（隈崎）にエサ（黄色い）を与えないで下さい（笑）

青松園B 中盤のチャンスをものにした三友クラブが逃げ切り勝利

三友クラブ (3勝4敗) 10622 11 平田○、足達一谷崎

塩浜ジャガーズ (1勝7敗) 10300 4 立石●、橋村

HR: 坂本 (歩) (三友ク) 石内、立石、岩崎 (塩浜ジ) 3BH: 坂本 (歩) (三友) 盗塁: 山崎 (三友ク)

初回、三友クラブの一番坂本 (歩) 選手はいきなり塩浜ジャガーズ立石投手の球を強振すると、中越えの先頭打者HRで先制。対するジャガーズは一死から二番石内選手が見事左中間HRを放ちすかさず同点とする。三回表、三友クラブは三番平田選手が四球を選ぶとさらに四球と相手エラーで無死満塁。この回制球が定まらないジャガーズ立石投手はPBで1点を与えてしまう。さらに六番谷崎選手の内野ゴロと七番山本選手のヒットで2点。その後も制球は定まらず、四球とWPなどで2点を与え、この回計6失点。ジャガーズは三回裏、立石選手が意地のHRを放ち1点を返すと、さらに二死一塁から六番岩崎選手が左中間へ2ランHRを放ち3点差まで追い上げるが反撃もここまで。対する三友クラブはその後も小刻みに加点。平田投手から足達投手のリレーによりジャガーズの反撃を封じ勝利を収めた。(記事・写真: ソルトベイスターズ 田中 裕次郎)



一回表、坂本歩選手の先頭打者HRで三友クラブ先制。



一回裏、ジャガーズ石内選手がすかさずHRで同点とする。



セカンドゴロを無難に捌く坂本耕司二塁手 (父)。



二回裏、荒木選手の打球はランナーのすぐ横でタッチアウト。



三回表内野ゴロの間にホームインする三友クラブ山崎選手。



三回裏、ジャガーズ立石選手、右中間へ意地のHR。



三回裏、追撃の2ランHRを放ったジャガーズ岩崎選手。



軽快に捕球する三友クラブ坂本歩三塁手（息子）。



前打席HRの立石選手をサードフライに切って取る。



要所を抑え、勝利投手となった三友クラブ平田投手。



懸命に送球する三友クラブ山崎遊撃手。



投手でもショートでも活躍の三友クラブ平田選手。



捕球からタッチアップ体制のジャガーズ福田右翼手。



ダッシュで捕球のジャガーズ石内三塁手。

雁レク7 雁の巣ライナース 対 奈多サンデーズ戦は・・・

奈多サンデーズのメンバーが足りず、雁の巣ライナースが不戦勝（7-0）となりました。

お知らせ

8月の運営会議はお盆のため、ありません。

次回、9月9日（土）19:00～運営会議の後に、恒例の「Go! Do! 飲み会2017」を開催します！

場所：和白の「味平」（運営会議も）

会費：1人3000円程度

運営会議も「味平」で行いますので、間違わないように！

出欠は、各チームまとめて、HP左上の「編集部長へメール」で送って下さい。



運営委員、編集部員、記録部員、執行部、その他希望者は、是非参加してくれよな！

特別出演：三苦フレンズ 松●選手。

第14週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第14週、7月23日は3試合が行われ、1試合が不戦勝となりました。

青松園Aの三苦フレンズ対和白新町パイレーツ戦は、フレンズ佐藤（由）捕手とパイレーツ安田捕手がお互い

に捕殺2を挙げる強肩を披露した。特に佐藤（由）捕手は座ったまま矢のような送球で二塁ランナーを刺した。これはフレンズ二遊間ランナーの隙を狙ってベースカバーに入っている賜物だ。そんな剛速球を右手に受けたフレンズ山口投手。いったんは生野拓磨二塁手と交代したが、最後はもう一度マウンドに上がりきっちり締める活躍。一瞬ヒヤリとしたが、フレンズが9-3と危なげなく勝利を収めた。

奈多グラウンドの新町ウインズ対奈多フェニックス戦は、フェニックスはギリギリ9人で試合に臨んだ。フェニックス下位打順七番から今林心一、誠、孝選手の年齢合計164歳（7/23現在）ということもありウインズ有利かと思われたが、3-3で迎えた五回、六回はフェニックスのチーム一丸となつての攻撃で4点を挙げ、3-7でフェニックスの勝利。誰も怪我や熱中症で欠くことが出来ないという状況が集中力を上げたか？

青松園Bの三友クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、1-1で迎えた三回表、制球の定まらないジャガーズ立石投手の自滅で6点を献上すると、四・五回も2点ずつ失う。ジャガーズ打線も三回裏に2HRで3点を返すも四回裏から登板の三友クラブ足達投手に完璧に抑えられ、11-4で三友クラブの勝利。先頭打者HRを放つなど三友クラブ一番坂本歩夢選手のハツラツとした活躍も勝利に貢献した。

雁レク7で試合予定だった雁の巣ライナーズ対奈多サンデーズ戦は、奈多サンデーズのメンバーが足りずライナーズが不戦勝（7-0）となった。ちなみに不戦敗は勝ち点が-2です。

夏の甲子園大会決勝が7月28日（金）に行われ、元近鉄、オリックス監督の故仰木彬氏の母校で県内屈指の進学校、東筑が古豪復活を果たしました。

東筑高校は、次々と私学強豪校をなぎ倒し、最後は今春センバツ8強で優勝候補筆頭だった福岡大大濠に3-1で競り勝ちました。同校の出場は96年以来で、公立勢としても21年ぶりの夏切符となりました。

2年生の右横手投げエース石田旭昇（あきのり）投手が2回戦から7試合を1人で投げ抜き計836球の粘投。甲子園出場へ「あこがれの甲子園でドキドキですが、打ち取る投球で1戦1戦大事に戦いたい」と胸を高鳴らせました。

福岡県代表となった東筑高校は6回目の出場でエース石田が4回目だそうです。

WSLもますますヒートアップしていきましょう！